

大学生と農山漁村との連携事例



神戸大学

実施主体名: にしき恋

担当窓口

神戸大学大学院 農学研究科 地域連携センター

URL

<https://nishikikoisasayama.wixsite.com/home>



活動内容

地域密着型サークル「にしき恋」は、丹波篠山市の西部に位置する西紀南地区を中心に、次の3つの活動に取り組んでいる。
①農家さんのお手伝いである「農業ボランティア」、②地域の耕作放棄地を『にし恋Farm』として農家さんからお借りして、地域の特産である丹波黒大豆を中心に栽培し、収穫した作物を学内・関西各地のマルシェ、オンラインショップなどで販売する活動、③地域活性化を目的とし、荒廃した竹林を整備する等の様々なプロジェクト活動。



きっかけ

神戸大学農学部の実践農学入門において、週末に農家さんのもとで1年にわたり農業の現場を学ぶ授業がきっかけとなる。授業を受けた当時の学生が、授業だけで農家さんとの関係を終わらせず、お世話になった農家さんに恩返しをしたいという想いから、大学の先生や地域の方々の協力を得て「にしき恋」を立ち上げた。



展望

学生が楽しく活動していることが地域の方々に感謝され、にしき恋が西紀南地区に根付き、農業ボランティアや「にし恋Farm」等の活動の幅を広げているため、これからも地域の方々に愛され続けるにしき恋であるよう、末永く活動していきたい。



収穫の様子



販売の様子



収穫した黒枝豆